

令和元年度 第3回 碧南市介護保険運営協議会会議録

1 日時

令和2年3月10日（火） 午後1時30分～午後2時10分

2 場所

碧南市役所 2階 談話室1・2

3 出席者

(1) 委員 禰宜田知司、河原厚司、大田康博、水野博史、下村美幸、
沢井智美、齋藤健、永坂幸子、藤田敏江、山田正教、佐藤洋一、
片山一也、磯貝靖子、高松好美、磯貝厚子、伊藤久美子、井上卓、
小林清彦

(計18名)

(2) 事務局職員 健康推進部長 杉浦秀司、高齢介護課長 山田昌宏
健康課長 齋藤雅人
高齢介護課課長補佐 杉浦洋子、高齢介護課高齢福祉係長 小林圭介、
高齢介護課介護保険係長 石川 真佐紀
健康課成人保険係長 石川 麻子、高齢介護課主査 石川 基
高齢介護課主事 林 拓寛（計9名）

4 傍聴者

0人

5 議題

- (1) 地域包括支援センターの今後の在り方について
- (2) 地域密着型サービスの公募について
- (3) その他

6 議事録

事務局：あいさつ

会長：あいさつ

事務局：議題(1)の説明

A委員：資料１の２の市の課題として主任介護支援専門員の配置が難しい理由を書面にも記載するとわかりやすかったと思う。

もうひとつは市民からの相談が資料１の５（３）の地域包括支援センター、出張所、高齢介護課窓口の５か所で行えるということだが、この５か所それぞれがどういう役割を果たすのかの示してもらえると良かった。

事務局：本市には現在２人の主任介護支援専門員が居るが、今後主任介護支援専門員を育成するのは難しいという現状がある中で、今後も市内の２事業所に継続的に主任介護支援専門員を配置していくのは難しい。そういった状況を受け主任介護支援専門員の配置を課題として挙げさせてもらった。

もう一つの５か所の役割については、３か所の地域包括支援センターは担当地区を割り振り、市の委託を受け資料１の１（１）イに記載の役割がある。高齢介護課の窓口では、相談が集まりやすい場所ということもあり総合相談や権利擁護の部分については初動対応や早期対応を行う。出張所については社協包括支援センターの出張所という扱いになる。

A委員：確認だが、権利擁護に関する相談は直接市の地域支援係に全ての相談が来るという位置づけでよいか。

事務局：全ての相談を受けるという位置づけではない。包括支援センターが相談を多く受けるため、困難な場合等は市も一緒に協力体制をとって対応する。また、相談は市にも連絡してもらい、一緒に対応していくという位置づけになる。

事務局：議題（２）の説明

今後も小規模特養の必要性については慎重に検討していく。

B委員：デイサービスは碧南市に何か所あるか。

事務局：市内のデイサービスは1月1日時点では20か所。そのうち地域密着型デイサービスは11か所となります。

B委員：地域密着型デイサービスの定員は埋まっているのか。

C委員：市内のデイサービスの利用状況としてはそんなに混みあっているということはない。介護度が低く思うように利用できないということはあるものの週に2、3回であれば問題なく利用でき、碧南市では困っている状況ではない。

D委員：小規模特養の公募は見送ったほうが良い。理由の1つめは、在宅サービスが充実してきていること。2つめは医療の在り方や病院の在り方が変わってきており、加えて人生の最期への向き合い方という国民の文化や感情も変わってきている、そういった変化を見ながら施設整備も進めていったほうが良い。

公募見送りと同時に提案として挙げたいのが、高齢者や待機者への必要量を推測するだけの整備計画ではなく、必要なサービスを提供する人材を確保するための計画が必要である。その中で本会議のメンバーにも、将来の介護を担う人材として、教育の在り方や教育の中身、そういった視点をもった人材をメンバーに組み入れたほうが良い。我々の時代の介護を担う人材を今から育成しないと、将来この地域がもたなくなってしまう。

議題終了

事務局：要介護認定者アンケートの回収結果についての報告

前回の会議でご意見いただいた内容を盛り込み、2月1日から2月29日までの1か月間、アンケート調査を行いました。

要介護1以上で、有料老人ホーム等に入っている方も含む在宅の方、無作為抽出の1,000名に「要介護認定者アンケート」をお送りしたところ、3月9日現在、回収は502通、回収率は50.2%という結果です。前回は、要支援の方を含めて48.6%の回収率でしたので、今回は高い回収率となっている。

理由としては、碧南市介護サービス機関連絡協議会を通じて、居宅介護事業所を始め、各事業所の皆様に、アンケート提出の声掛け、更に、可能な範囲でアンケート回答の補助、提出作業まで全面的にご協力いただいたことが大きいと感じております。関係者の皆様、誠にありがとうございました。

集計と分析は、計画策定委託先のサーベイリサーチセンターが行う。集計結果は、「事業所及びケアマネジャーアンケート」の結果とあわせて、今年7月の第1回運営協議会で報告予定です。

E委員：今回サービス連絡協議会の方でも協力させていただいた。回収率がもう少し高く6割くらいまで上がると、潜在的なニーズがわかったかと思う。引き続き次回も協力を惜しまないようにしたい。

事務局：あいさつ。

終了